

◎特集1

おかや子育て最前線
がんばっているお父さん、お母さんにエールを！

ようこそ宝もの！

生まれてきてくれてありがとう、おめでとう。

健やかに、やさしく元気に育つてね！

くるくると変わるあどけない表情、もみじのようなかわいい手、
よきよきと動くちっちゃな足。

初めてのハイハイ、たっち、そしてあんよ…。

黒目がちなその澄んだ瞳に映るのは
どんな景色？

子どもの見せてくれる天使のような
笑顔や愛らしいしぐさのお礼に、
わたしたち大人ができることは何
でしょう。見守ること、支えること、
幸せで平和な社会を将来に引き継
ぐこと。戸惑いや不安、ストレスと
戦う子育て世代のお父さん・お母さん
を応援すること。

子どもたちが、のびのびと羽ばたける岡谷市
であるように、今月は豊かな子育て支援社会実現に向けて
考えてみましょう。

子育ての今 お母さんたちの今

共働き世帯、働きながら子どもを育てるワーキングマザーが増え、女性の生き方や価値観が多様化するなか、子育てを取り巻く環境も大きく変化しています。大家族に囲まれ、子どもたちが思いどおりにいかないことや、がまんすることを学べた時代と比べ、核家族化と少子化が進む現代の家庭は、親にとっても、日々の悩みや不安を解決する糸口が見つげにくく、子どもが自然と社会性を身につけ、大人へと成長していくのが難しい環境かもしれません。

子育て最前線のお父さん、お母さんが、日々感じていることはどんなこと?...まずは生の声に耳を傾けてみましょう。また、地域で子育てと向き合う先輩世代にも、お話をうかがってみましょう。互いに励まし支え合う、そんな子育てに社会するにはどうしたらいいか、ともに答えを模索してみたいと思います。

Aさん



県外から引っ越してきました。諏訪湖が汚れているのは残念ですが、岡谷は大好きです。人のやさしさと自然に“ほっ”とします。とくに子どものことを気にかけてくれたり、外で一緒に遊んでくれたりする、近所づきあいに助けられています。

Dさん



夫の転勤で名古屋から7年前に来ました。当時は地理もわからず、学校のお便りに「〇〇新道」などと書いてあっても??でした。子育てサークルに参加してからは、知り合いも増え、いろいろ相談にも乗ってもらっています。子どもが4人いるので、今までは家にいましたが、そろそろ仕事したいと考えています。学校の休みに合わせて土日休みを、さらに時間の融通がきくかどうか、休みが取りやすいかななどがクリアできればうれしいのですが…。

Bさん



子どもが2人もまだ小さいので、家にいた気持ちもありますが、社会人としての責任や経済的な必要性から、嘱託で働いています。子どもと向き合う時間を少しでも多くしたいと、24時間の配分を考えながら生活を組み立てています。育休がもう少し延長できるといいですね。保育園入園まで...というのはぜいたくかもしれませんが。

Cさん



ストレス社会で、今のお母さんたちはとても疲れていると思います。地域で町内ラジオ体操とか気軽にできるもので、家族みんなが参加してリフレッシュできる活動を継続できたらいいかもしれません。わたし自身、子育てと介護をしながら働いているので“きつい”と思うときもありますが、家では「お母さんはいつも笑っているように!」と心がけて、子どもの話を聞くようにしています。

Fさん



子どもだけでお留守番できる年になったので、だいぶ楽になりましたが、小さいときは、預けられるところがあつたら...と切実に思っていました。家事と仕事との両立は、思った以上にむずかしいもの。やはり子どもに関わる時間が一番大事なので、時間が自由になる就業形態がもっと増えるといいですね。子どもを守るためにも、親世代の成長が課題ではないかと思っています。

Eさん



上は14歳から下は2歳まで5人の子持ちです。3歳以下の子には「こどものくに」がありますが、幼児から小学生が遊べる場所がないので、児童館のような施設をぜひ!と熱望します。雨の日や寒い時期でも家にこもらず、みんなで遊べるといいですね。少子化対策としての医療費の助成や保育料の補助などはありがたく思っていますが、学童の有料化など、支援が薄くなったように感じることもあります。



Hさん



子どもが小さかったときは、とにかく子どもとの会話を大切にしていました。話を始めたらよく聞いてあげる。後回しにしたり、中断したりすると、決して話してくれないんですね。岡谷のよいところは自然がいっぱいなところ。安全のための環境整備も、豊かな自然をできるだけ守るかたちで進めてほしいです。もっと人が「歩ける」まちにできたらいいですね。

Iさん



子育てにはまず家族の協力が不可欠。自分だけではどうにもならないことが多いので、夫や子どもの祖父母に頼みやすい環境作りを心がけてきました。また、子どもが大きくなった先輩ママさんらが参加してくださっているボランティア活動は、世代を超えて子育てについて深い話ができるので、積極的に出かけています。楽しいし勉強になるんです。岡谷は市内循環のシルキーバスが低料金で利用しやすいですね。子どももわたしも大好きな図書館（居心地がいい!!）に行くときなどに利用しています。



Gさん



育休があけて9月から働き始めましたが、未満児の保育料、午後4時以降の延長保育など、保育園のプラスα分の出費が痛いんです。一時保育、病児保育、学童など、子どもを預けられる環境は、一応整ってきていますね、ただ、緊急時の対応などにももう少し柔軟性があるとうれしいです。子どもが病気で、仕事はどうしても休めない場合などは苦労します。子どものことや子育てのことで市役所を訪ねても、担当課がいくつにも分かれていてわかりにくく、小さい子を連れているので大変に思うこともあります。とりあえずそこで聞ける、すぐに対応してくれるというような窓口に、子育てコーディネーターみたいな人がいてくださったら心強いですね。

お話を聞かせてくださったお母さんたち



地域の子育て支援イベントに参加してみませんか!

小学生と未就園児の交流会で感想をうかがいました。

普段母親としか遊んだことがないので「どうなるだろう?」と心配でしたが、小学生のお兄さんお姉さんが、楽しく声をかけ面倒をみてくれたので仲良くなり、笑顔で走り回っていました。またこんな機会を開いてください。

安全に遊べるようにと、小学生が工夫して手作りしてくれたたくさんの遊び道具で、子どもたちは、とても楽しそうに遊んでいましたね。家のどんなおもちゃよりも夢中になっていたので、参考に家でも作って、子どもと遊んでみたいと思います。

小学生がとても上手に子どもを見てくれるので「妹か弟がいるの?」と聞いてみましたが、いないとのことでした。子どもの目線になって笑顔で話しかけ、根気よく気持ちをくんでくれる、危ないときはさっと支えてくれる。とても驚き、そして感心しました。

岡谷市の子育てサポート

【凡例】 ●…健康推進課 ●…社会福祉課 ●…子ども課 ●…教育総務課
●…生涯学習課 ●…生涯学習活動センター ●地区公民館 ●…図書館 ●…こどものくに

〈健診・母子保健〉

- 妊婦健診
- パパママ教室
- 新生児訪問
- 乳幼児健診 (3~4か月、9~10か月、1歳6か月、3歳)
- 離乳食教室

〈育児支援〉

- 産後ママサポート
- ファーストブック
- 本の読み聞かせ
- 子育て支援館 「こどものくに」
- 保育園
- 子育て支援センター
- ことばの教室

- 病児・病後児保育
- 通園訓練施設 「まゆみ園」
- 学童クラブ
- スクールカウンセラー
- 心の教室
- フレンドリー教室
- 乳幼児学級

〈経済支援〉

- 乳幼児等医療給付
- 児童手当
- 保育料軽減
- 幼稚園就園奨励費・就園補助金
- 児童扶養手当
- 特別児童扶養手当

〈地域支援〉…各地区

- 乳幼児親子ふれあいの集い
- 地域子(己)育てミニ集会
- 民生児童委員・主任児童委員

〈各種相談〉

- 育児、母乳相談
- 母子訪問相談
- 家庭児童相談
- 教育相談
- 母(父)子相談
- 障害に関する相談

※詳しくは岡谷市発行「子育て支援マップ」をご覧ください。

地域で支える子育て最前線 先輩たちの活動は…

岡谷市更生保護女性会会長 轟 文子さん

犯罪のない社会をめざし、子どもたちが健全に育つように活動するなかで「かわいい赤ちゃんに輝かしい未来を」と、平成11年から0～3歳児を対象とした親子ふれあいの集いに取り組んでいます。現在も各地区ごとに季節の行事を取り入れ、世代間のふれあいを大切に「思い合う心を育む」会を楽しく運営。就園前に地域との関わりができるので、お母さんたちにも喜ばれています。



今のお母さんたちには、まず「食べることを大事に考えて!」をお願いしたいです。“早寝、早起き、朝ごはん”といえますよね。忙しければおにぎりだけでもいいので、子どもに朝食を食べさせること。コミュニケーションも、実は食べ物からが近道ですよ。あとは、とにかくよく遊ばせましょう。

西堀区「ラムラム広場」運営委員長 小口光俊さん

ラムラム広場は、新村区長の発案で平成14年に発足し“地域と学校が手を携えて子育てをサポートしよう”と、毎月さまざまな活動をしています。小学生を中心に、幼児の参加には親が付き添うかたちで輪を広げています。お父さんの子育て参加を目的に「親子遠足」も実施しています。最近では、友だちづきあいが上手にできない子も増えているので、ここでたくさん子どもと遊び、囲碁や将棋や相撲なども体験して、子どもなりに社会勉強をしてもらおうじゃないかと。年配者の古い話も、子どもには新鮮なようです。中学生や東高生がリーダー役で参加してくれるのも、小さな子には何よりうれしいようです。いつだったか、以前参加してくれた高校生が、保育士になったと訪ねてくれ感激しました。



再就職準備セミナー 働きたいお母さん! 見つけよう自分らしい働き方

再就職準備セミナーでは、仕事と子育てを両立して働くために、自分の環境や適職などを確認しながら、自分に合った働き方を見つけるお手伝いをします。子育てをしながらもう一度働きたいお母さん! ぜひ参加してみませんか。

受講料
無料

内容・日程 ※1日目のセミナーのみの参加も可能 ※両日、希望者には託児を無料で行います。

〔1日目〕再就職準備セミナー	
日時	10月22日(水) 午前10時30分～午後3時
場所	岡谷市勤労会館
内容	1. 自分にとっての働くことの意義 2. 再就職に向けての自分の環境チェック 3. 自分にあった仕事・できる仕事 4. 再チャレンジサポートプログラムについて 5. 希望者とのグループ面談
講師	(財)21世紀職業財団専任コンサルタントほか

〔2日目〕見学	
日時	10月29日(水) 午後1時～午後3時
場所	岡谷市勤労会館(集合)
内容	市内の子育て支援施設と事業所を各1か所見学予定(市の車両で移動)

問合せ・申込み●テクノプラザおかや ☎21-7000

『子育て応援倶楽部』の仲間になろう!!

問合せ●子ども課(内線1264)

子育て中のお母さんのための講座(全6回)が始まります。みんなで楽しく、子育てについて話したり考えたりしてみませんか。

回	期日	時間	内容	講師	
1	11月4日(火)	午前10時～正午	「オリエンテーション・自己紹介」 「親子であそぼ!」子どもと一緒に、楽しくからだを動かして!	体育学士・健康プロデューサー 本橋珠江先生	
2	11月19日(水)		「子どもと上手にコミュニケーション」ことばの発達を中心にコツを伝授 「知りたいな、岡谷の子育て情報」	言語聴覚士・ことばの教室指導者 宮坂ちよい先生	
3	12月20日(土)		「Let's パパ&ママクッキング」 ときにはご夫婦でお料理を作ってみませんか? ママだけの参加もOK!	市教育委員会栄養士	
4	1月20日(火)		「大人のための絵本タイム」忙しいママにおはなしのプレゼント! 「話し合い」	おはなしだいすきボポーの木の会 小松令子先生	
5	2月17日(火)		話し合いながら子育てママを応援するプログラムを一緒に作っていきます		
6	3月17日(火)				

会場…イルプラザ・カルチャーセンター

対象…子育て中のお母さん(第3回はお父さんと一緒に)

定員…30名

託児…無料(1回目は親子で参加できるため、ありません)

参加費…保険料として1人120円(おとな・子ども)

※第3回は材料費として実費がかかります。

申込み…10月7日(火) 午前9時～ 市役所2階 子ども課